

令和2年度
卒業生向けアンケート調査
結果報告書

令和2年8月

新潟工業短期大学

広報・就職支援センター 就職支援室

目 次

I. 卒業生向けアンケート調査の概要

1. 調査目的	1
2. 調査対象及び調査方法	1
3. 調査時期	1
4. 調査内容	1
5. アンケート回収状況	1

II. 調査結果

(1) どの程度本学で身に付いたか	2
(2) 今後本学でどの分野の教育を強化・充実することが望ましいか	4
(3) 社会に出てから取得した資格	4
(4) 学生生活全般について有意義だったか	4
(5) 本学を勧めたいと思うか	5
(6) 本学に対しての意見	5

III. おわりに	6
-----------	---

1. 卒業生向けアンケート調査の概要

1. 調査目的

新潟工業短期大学の授業カリキュラムの充実を図るため、本学の卒業生を対象に、本学で身に付いた事柄やその程度、教育内容で強化すべき分野等を調査した。

2. 調査対象及び調査方法

卒業して3年目（平成30年3月卒業）の者に対して、卒業時採用企業に在籍している者は企業経由でアンケートを渡し、事前に退職が確認された者は実家住所に送付した。

対象者数78名

3. 調査時期

令和2年7月

4. 調査内容

(1) 授業他の下記8項目について、どの程度本学で身に付いたか

- ①仕事に必要な各種の資格
- ②仕事に必要な知識や基礎学力
- ③仕事における職務遂行能力
- ④協調性・コミュニケーション能力
- ⑤責任感・粘り強さ・誠実性
- ⑥パソコン操作等のスキル
- ⑦キャリアデザイン
- ⑧全体的

(2) 今後本学でどの分野の教育を強化・充実することが望ましいか（下記9項目）

※複数回答

- ①文科系（哲学・文学など）、②社会系（会計学・経済学）、③自然系（数学、物理学）
- ④専門科目A（教室での講義）、⑤専門科目B（実験・実習）、⑥幅広い教養（国際・情報・環境・人間など）、⑦社会常識（挨拶・礼儀作法）、⑧自動車整備士以外の資格、⑨その他

(3) 社会に出てから取得した資格

(4) 学生生活全般について有意義だったか

(5) 身近に自動車及び工業系への進学を考えている人がいたら本学を勧めたいと思うか

(6) 本学に対しての意見

5. アンケート回収状況

回答者数：39名（回答率50%）

※退職者数：18名

※死亡者数：1名

II. 調査結果

(1) どの程度本学で身に付けたか

①仕事に必要な各種の資格

仕事に必要な資格が身に付いたかについて4段階で尋ねたところ、「大いに思う」が46%だった。また、「まあまあ思う」が48%と一番高く9割以上の卒業生から「仕事に必要な資格が身に付いた」と回答が得られた。反面「どちらも言えない」が3%、「思わない」が3%の回答だった。(図1)

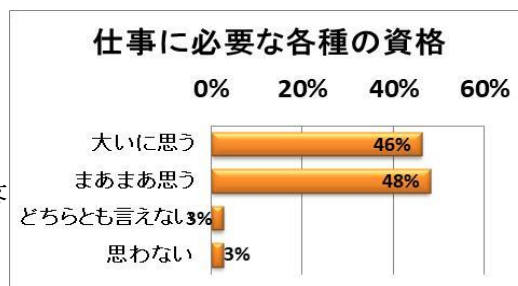


図1 資格が身に付いたかに対する回答

②仕事に必要な知識や基礎学力

仕事に必要な知識や基礎学力が身に付いたかについて4段階で尋ねたところ、「大いに思う」とする割合が23%、「まあまあ思う」が57%となっている。また、「どちらも言えない」とする割合は15%、「思わない」とする割合は5%であった。(図2)
昨年同様、8割の卒業生から「仕事に必要な知識や学力が身に付いた」という回答が得られた。

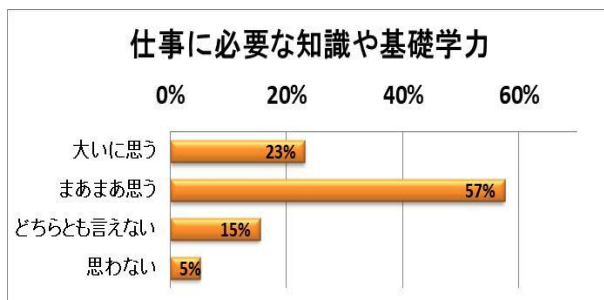


図2 知識、学力が身に付いたかに対する回答

③仕事における職務遂行能力

仕事における職務遂行能力が身に付いたかについて4段階で尋ねたところ、「大いに思う」とする割合が26%、「まあまあ思う」が41%で7割弱の卒業生から「仕事における職務遂行能力が身に付いた」という回答を得たが「どちらも言えない」、「思わない」とする割合は23%、10%であった。(図3)
「わからない、身に付いたと思わない」とする3割を留意する必要がある。

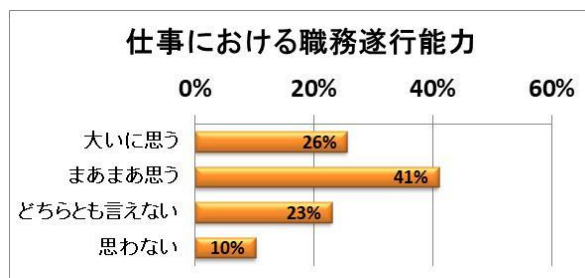


図3 職務遂行能力が身に付いたかに対する回答

④協調性・コミュニケーション能力

協調性・コミュニケーション能力が身に付いたかについて4段階で尋ねたところ、「大いに思う」とする割合が26%、「まあまあ思う」が48%となっている。「どちらも言えない」、「思わない」とする割合はそれぞれ21%、5%である。(図4)

7割以上の卒業生から「協調性・コミュニケーション能力が身に付いた」という回答が得られている。

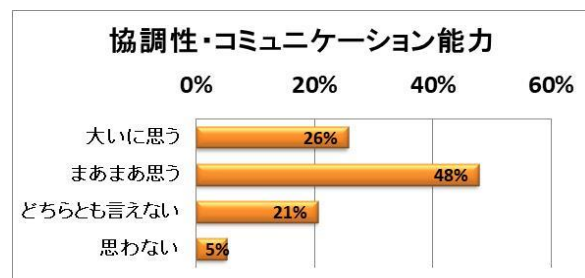


図4 協調性・コミュニケーションが身に付いたかに対する回答

⑤責任感・粘り強さ・誠実性

責任感・粘り強さ・誠実性が身に付いたかについて4段階で尋ねたところ、「大いに思う」とする割合が26%、「まあまあ思う」が48%となっている。「どちらとも言えない」、「思わない」とする割合はそれぞれ23%、3%である。(図5)、7割以上の卒業生から「責任感・粘り強さ・誠実性」が身に付いたという回答が得られている。

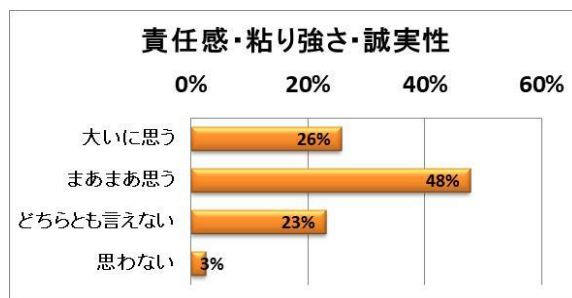


図5 責任感・粘り強さ・誠実性が身に付いたかに対する回答

⑥パソコン操作等のスキル

パソコン操作等のスキルが身に付いたかについて4段階で尋ねたところ、「大いに思う」とする割合が8%、「まあまあ思う」が28%となっている。「どちらとも言えない」、「思わない」とする割合はそれぞれ38%、26%である。(図6)、3割以上の卒業生より「パソコン操作等のスキルが身に付いた」という回答が得られたものの、依然として苦手な学生が存在して「身に付いたと思わない」とする回答も26%あり留意する必要がある。

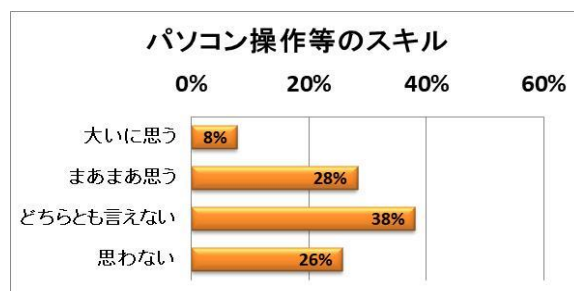


図6 パソコン操作等のスキルが身に付いたかに対する回答

⑦キャリアデザイン

キャリアデザインが役に立ったかについて4段階で尋ねたところ、「大いに思う」とする割合が21%、「まあまあ思う」が54%となっている。「どちらとも言えない」、「思わない」とする割合はそれぞれ17%、8%である。(図7)、7割以上の卒業生から「キャリアデザインが役に立った」という回答が得られた。

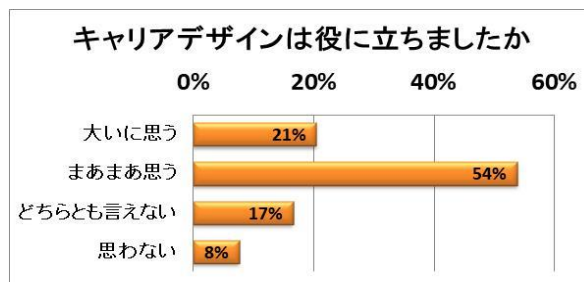


図7 キャリアデザインが役にたったかに対する回答

⑧全体的

本学で学んだことは全体的にどの程度仕事の役に立っているかについて4段階で尋ねたところ「大いに思う」とする割合が21%、「まあまあ思う」が59%となっている。「どちらとも言えない」、「思わない」とする割合はそれぞれ15%、5%である。(図8) 8割の卒業生から「本学で学んだことは仕事の役に立っている」という回答が得られた。

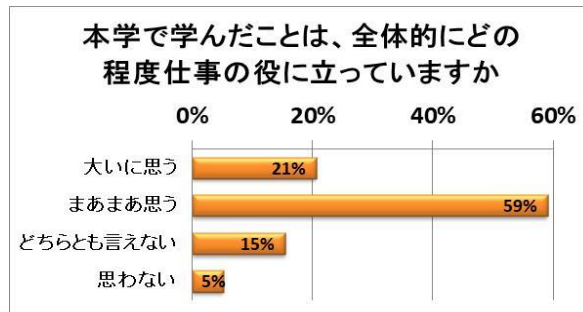


図8 本学で学んだことは仕事の役に立っているかに対する回答

(2) 今後本学でどの分野の教育を強化・充実することが望ましいか

今後本学でどの分野の教育を強化・充実することが望ましいか（複数回答）について尋ねたところ、「専門科目B（実験・実習）」が67%で最も高く、次いで「社会常識（挨拶・礼儀作法）」54%だった。以下、「専門科目A（教室での講義）」が18%、続いて「幅広い教養（国際・情報・環境・人間等）」15%の順となっている。（図 9）

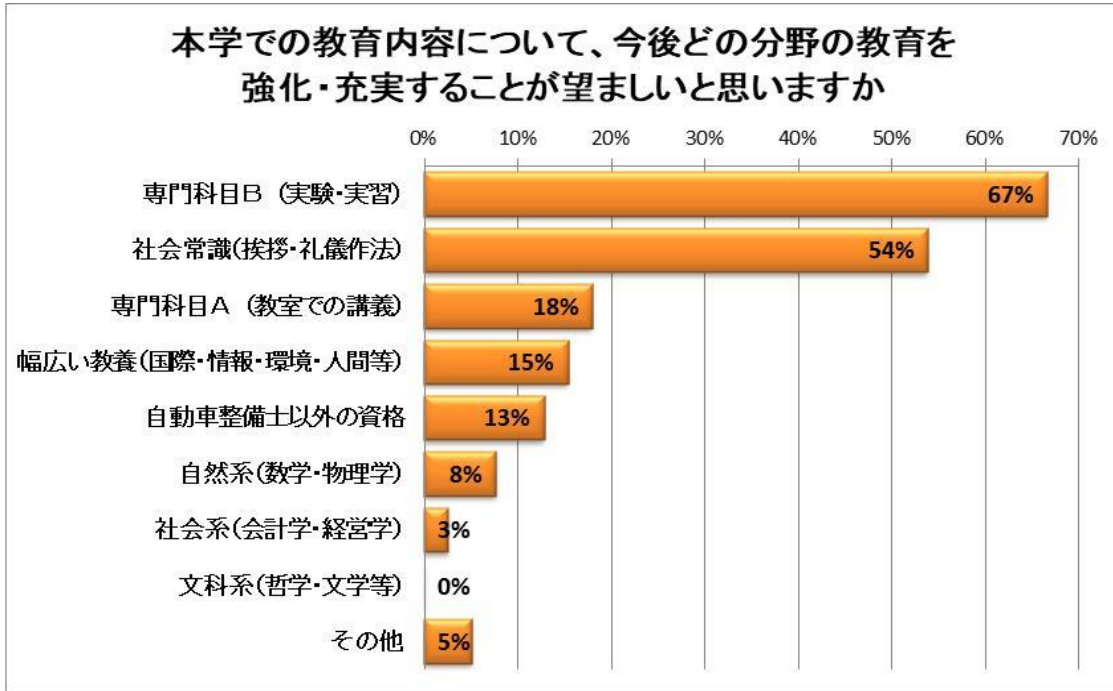


図 9 どの分野の教育を強化・充実することが望ましいかに対する回答（複数回答）

(3) 社会に出てから取得した資格

社会に出てから取得した資格について尋ねたところ、運転に関する免許は「中型自動車」(6)、「大型自動車」(2)、「準中型自動車」(1)、「大型二輪車」(1)、「車両系建設機械」(1)、フォークリフト(1)、整備に関する資格は「自動車保険」(1)、「社内資格」(2)、「玉掛け」(2)、「床上操作式クレーン」(2)、「小型移動式クレーン」(1)、「検査員」(2)、「危険物取扱者」(2)であった。

※（ ）内は人数

(4) 学生生活全般について

学生生活全般が有意義だったか5段階で尋ねたところ、「大いに思う」とする割合が44%、「まあまあ思う」が44%となっている。「どちらかといえばそう思う」が10%であり9割以上の卒業生が「学生生活全般が有意義だった」と回答している。（図 10）

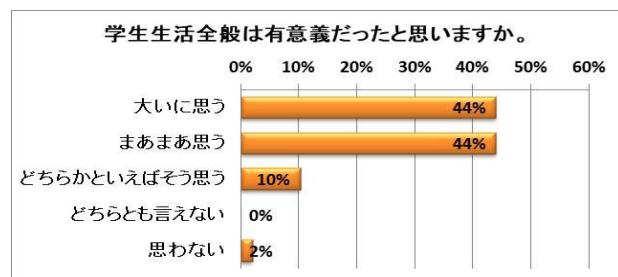


図 10 学生生活全般について有意義だったかに対する回答

(5) 本学を勧めたいと思うか

身近に自動車及び工業系への進学を考えている人がいたら本学を勧めたいと思うかについて5段階で尋ねたところ、「ぜひ勧めたい」が12名、「一応勧めてみる」が16名、「紹介程度ならする」が9名となっている。(図 11)

※只今、お友だち紹介キャンペーン展開中

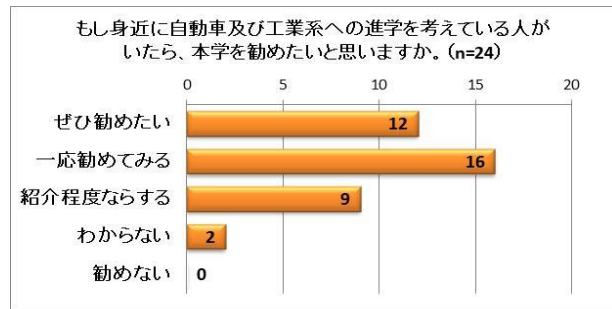


図 11 本学を勧めるかに対する回答

(6) 本学に対しての意見

- ・ 工具の扱い方をもう少し学べたら良かったと感じた。(小石)
- ・ 専門科目の授業は専門用語ばかりでよく分からないまま進んでいったイメージがあります。車について分からない状態で入学したのもっと理解しやすい授業をしてもらいたかったです。(登坂)
- ・ もっと電気関係に力を入れた方が良いと感じた。(山田)
- ・ 自動車整備以外の教養を学ぶことができ良かったです。(福原)
- ・ 仕事ができるのと真面目で勉強ができるのでは全く違います。仕事ができる方をしっかり見極めて育ててください。(中野)
- ・ 工短の存在を知らない方が多数なので宣伝活動に力を入れた方が良いと思います。(原)
- ・ 自動車保険の資格などトヨタ系の専門学校出身の人達は取得してこなかったもので、自分は在学中に取れて良かったと思う。(石井)
- ・ 学校では感じなかったが実際仕事をしていると他人に向ける注意力、周りを見る力が必要になってくるので周りを見る力をつける事が出来るような実習をすると良いかも。(坂井)
- ・ 現在はBMWの販売をさせて頂いています。整備士を通して車を理解し、お客さまへ直接BMWの魅力を伝えています。(佐々木)
- ・ これから電気自動車が増えてくると思うので電気の勉強をしておいた方が良いと思います。(小林)
- ・ 企業研究をしっかりとしてから行動させるようにしてほしい。
- ・ 座学よりも実習を増やしていった方が絶対に良いと思います。

Ⅲ. おわりに

卒業生向けアンケートは毎年実施しており今後も継続して実施する予定である。昨年度の結果と比較して今年度の傾向に顕著な差は見当たらないが、全体的に満足度が得られているようである。ただし「⑥パソコン操作等のスキル」が昨年同様低い傾向にあり回答を見ると「どちらとも言えない」、「思わない」を合わせた割合が64%となっており、昨年度(54%)と同様高い水準となっている。種々の教育の中でパソコン操作を身に付けさせる工夫が必要と思われる。また「(2) 今後本学でどの分野の教育を強化・充実することが望ましいか」の問いに、やはり「専門科目B（実験・実習）」が毎年高い水準となっている。

また「社会常識（挨拶・礼儀作法）」のポイントが上がり社会人になってからの必要性を実感したものと思える。これからは高い技術力と社会常識を授業に生かして多くの卒業生の満足が得られる大学を目指し取り組みを進める必要がある。

令和2年8月21日
新潟工業短期大学
広報・就職支援センター 就職支援室